

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続＞

新燃岳では、間欠的に噴火が発生しているものの最盛期の活動に比べ低下した状態で推移しています。そのため、本日（22 日）17 時 00 分に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）を切り替え、大きな噴石に対する警戒範囲をこれまでの 4 km から 3 km へ縮小しました。

本日午後、海上自衛隊の協力を得て行った上空からの調査では、火口内に蓄積された溶岩は、前回（3 月 11 日）に行った調査と比較して大きな変化はありませんでした。白色噴煙は、主に溶岩東側の亀裂及び縁辺から 100m 程度上がっていました。

赤外熱映像装置¹⁾による観測では、前回（3 月 11 日）と比較して地表面温度分布に大きな変化はありませんでした。

【防災上の警戒事項等】

新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。これまでの噴火では、風に流されて直径 4 cm 程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から 10km を超えて降りました。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

○活動概況

・上空からの調査（図 1、2）

本日（22 日）、海上自衛隊第 72 航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て行った上空からの調査では、火口内に蓄積された溶岩は、前回（3 月 11 日）と比較して大きな変化はありませんでした。白色噴煙は、溶岩東側の亀裂及び縁辺から 100m 程度上がっていました。また、火口内南東側の直径 100 m 程度の火孔からも白色の噴煙が 100m 程度上がっていました。

赤外熱映像装置¹⁾による観測では、前回（3 月 11 日）と比較して地表面温度分布に大きな変化はなく、溶岩東側の亀裂や火口内南東側の火孔の部分が比較的高温でした。

・噴煙など表面現象の状況

3 月 13 日 17 時 45 分の噴火以降、噴火は発生していません。

1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号 平 20 業使、第 385 号)。

・地震や微動の発生状況（図 3）

火山性地震は、増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。3月17、18日は一時的に増加しました。

振幅の小さな火山性微動が、3月17日に2回と20日に1回発生しました。

・地殻変動の状況

気象庁の高千穂河原及び湯之野観測点の傾斜計では、火山活動に伴う大きな変化はありませんでした。

・火山ガスの状況

3月15、17日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり200～500トンで、前回3月10日（一日あたり500トン）と同様にやや少ない状況でした。



図 1 霧島山（新燃岳） 火口内の状況

- ・火口内に蓄積された溶岩に大きな変化はありませんでした。
- ・白色の噴煙が主に溶岩東側の亀裂及び縁辺から100m程度上がっていました。
- ・火口内南東側の直径100m程度の火孔からも白色の噴煙が100m程度上がっていました。



図2 霧島山（新燃岳） 赤外熱映像装置による火口付近の地表面温度分布
前回（3月11日）の観測と比較して地表面温度分布に大きな変化は無く、溶岩東側の亀裂や火口内南東側の火孔の部分が比較的高温でした。

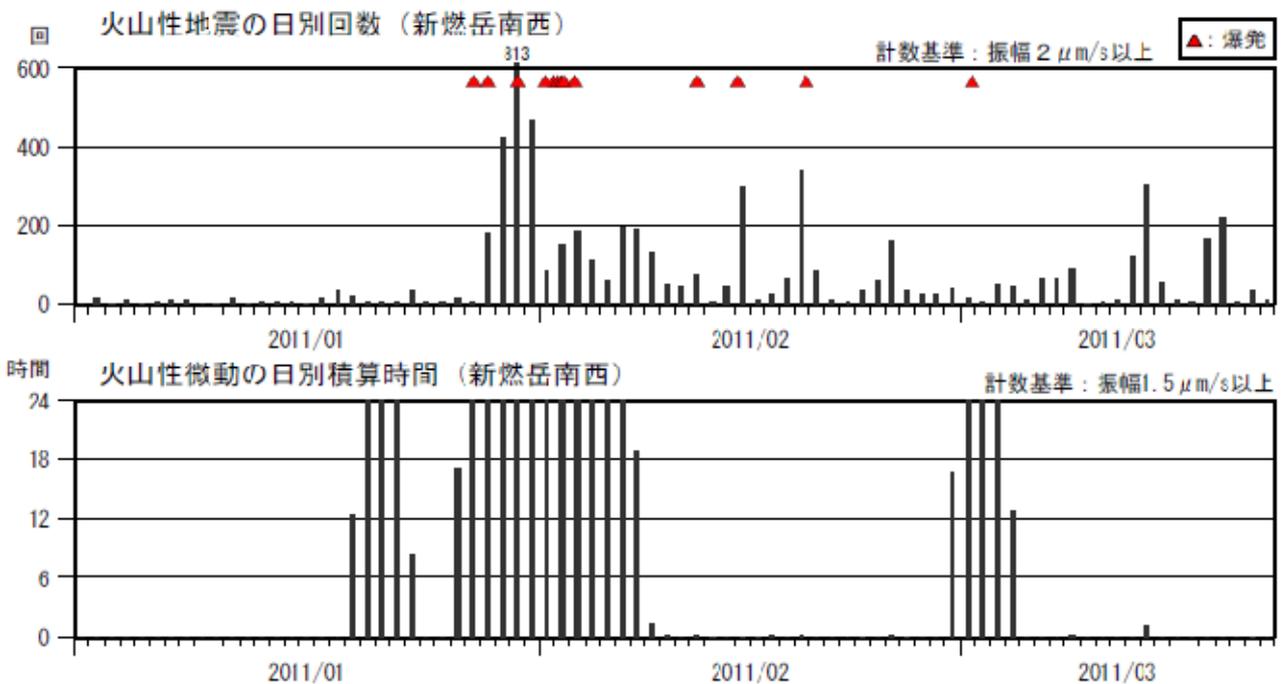


図3 霧島山（新燃岳） 火山性地震の日別回数・火山性微動の日別積算時間速報値
(2011年1月1日～3月21日)

- ・ 火山性地震は、増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。3月17、18日は一時的に増加しました。
- ・ 振幅の小さな火山性微動が、3月17日に2回と20日に1回発生しました。

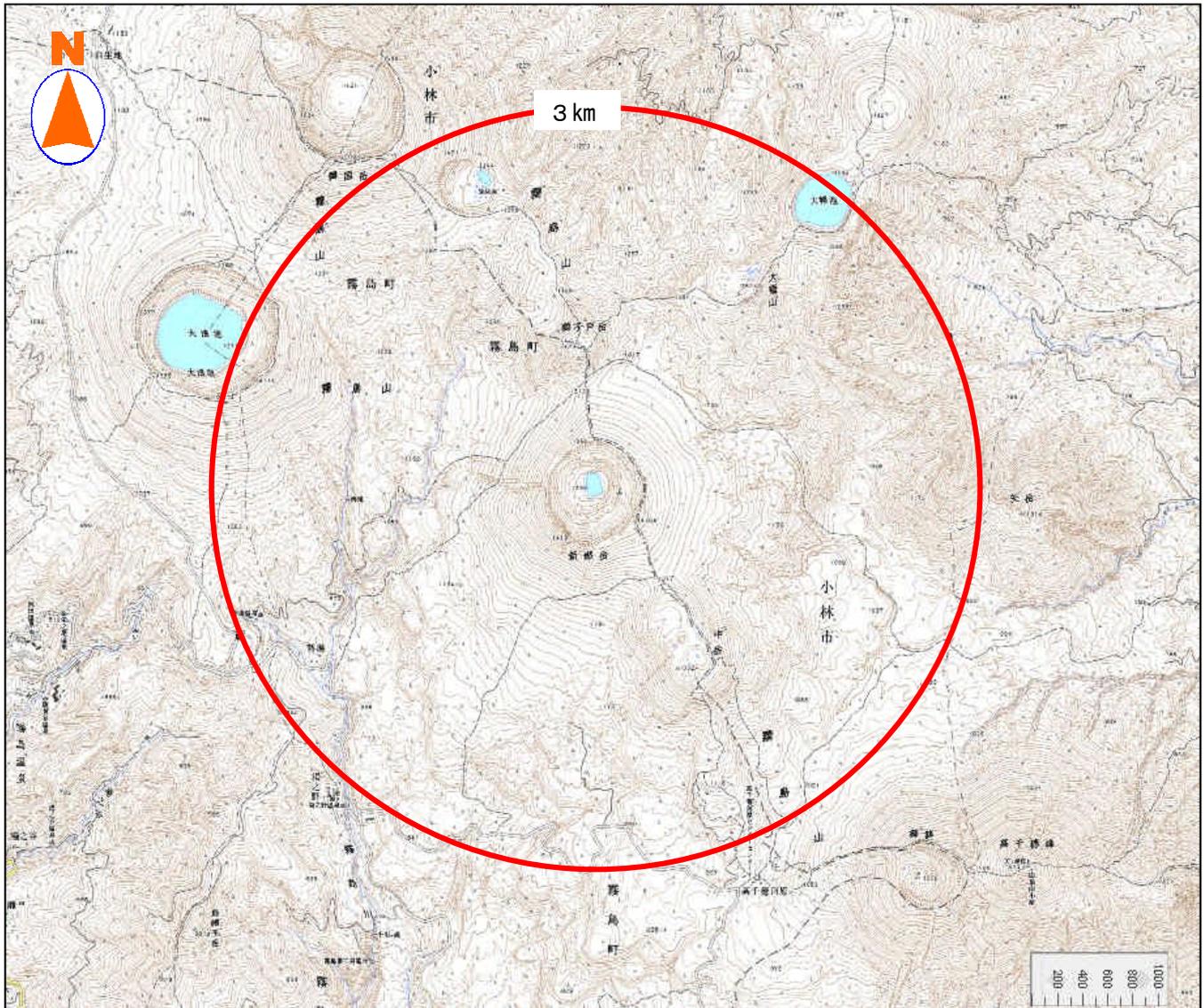


図4 霧島山（新燃岳） 新燃岳火口から3kmの範囲

本日（22日）17時00分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替え、大きな噴石に対する警戒範囲をこれまでの4kmから3kmへ縮小しました。